

用語解説

あ行	アウトリーチ	「外に手を伸ばすこと」を意味する英語から派生した言葉で、積極的に対象者のいる場所に出向いてサービスや情報を届けること。
	アセットマネジメントシステム	資産や財産を意味するアセット(asset)と 管理や経営を意味するマネジメント(management)を組み合わせた言葉で、資産管理・運用のこと。例えば、水道・下水道分野では、施設や管路の状態を客観的に把握、評価し、中長期的な資産の状態を予測するとともに、予算制約を考慮して計画的、かつ、効率的に管理する。
	イノベーション	新しい考え方や技術によって、これまでにない新しい価値を創造し、社会に変革をもたらすこと。
	インシデント	コンピュータウイルス等への感染や不正アクセス、機密情報の流出など、情報セキュリティ上の脅威となる事象のこと。
	インセンティブ	(行動を促す)刺激や動機、誘因、報奨金などの意味を持つ英単語で、人や組織の意欲を引き出すために外部から与える刺激のこと。例えば、市民の健康づくり活動や健診受診に対しポイント(＝インセンティブ)を付与することで、市民の健康づくりに対する意欲を高める。
	エビデンス	証拠、根拠、裏付けなどの意味を持つ英単語。個人的な感想や憶測ではないことの裏付け、説得力や信憑性を担保するための客観的事実や科学的に効果が認められた根拠のこと。
	オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工、編集、再配布等)できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータのこと。①営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの ②機械判読に適したもの ③無償で利用できるもの
	オンデマンド交通	オンデマンドとは、「要求に応じて」という意味の英語表現。オンデマンド交通は、利用者のニーズに応じて柔軟に運行する乗り合いの公共交通のこと。
か行	顔認証システム	カメラが取得した画像や映像から顔を検出して、顔の目、鼻、口などの位置や大きさなど様々な要素を識別し、本人確認する技術のこと。
	ガバメントクラウド	国共通のクラウドサービスの利用環境のこと。地方公共団体が標準準拠システムにおいてガバメントクラウドを利用することは、標準化法により、努力義務とされている。
	キャッシュレス決済	紙幣や硬貨といった現金を使わずにクレジットカードや電子マネー等を利用して支払う決済方法のこと。

	クラウド	クラウドコンピューティングの略。インターネットを経由して、クラウドサービス事業者が提供するコンピュータ機能(ソフトウェア、ハードウェア、データベース、サーバなどのサービス)を、必要なときに必要な分だけ利用する形態のこと。
	グリーンスローモビリティ	低速(時速20km未満)の電気自動車を活用した小さな移動サービスのこと。または、その車両も含めた総称のこと。
さ行	サイバー攻撃	サーバ、パソコン、スマートフォンなどの情報端末に対して、ネットワークを通じて、金銭や個人情報を盗んだり、システムの機能を停止させたりするなどの行為のこと。
	シェアサイクル	他の人と自転車をシェア(共有)し、自転車を自由に貸出・返却できる仕組みのこと。
	情報セキュリティポリシー	組織内の情報セキュリティを確保するための方針、体制、対策等を包括的に定めたもの。情報セキュリティ対策における基本的な考え方を定めた「基本方針」と、情報セキュリティ対策の基準を定めた「対策基準」から構成される。
	ステークホルダー	「stake(掛け金)」「holder(保有する)」に由来する言葉で、「利害関係者」を意味する英単語。企業・行政・NPO等の利害と行動に直接・間接的な利害関係を有する者(利害関係者)を指す意味で用いられる。
	ストレージ	情報システムにおいてデータやプログラムを記憶する装置のこと。ハードディスク装置、CD-R装置、磁気テープ装置などがこれに相当する。情報システム本体とは別の機器にストレージ機能を搭載し、複数の情報システムで1つのストレージを共用する場合がある。
	スマート化	コンピュータによる高度な制御・処理能力を搭載するなど、ICT技術を利用して既存のサービスや施設等の利便性が向上すること。
	スマートシティ	ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域のこと。
	スマート農業	ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現することなどを推進している新たな農業のこと。
	スマートロック	スマートフォン等の機器を用いて玄関ドアや門扉の施錠・開錠の管理ができるシステムのこと。例えば、公民館等の施設に導入することで、直接の鍵の貸し借りが不要となるほか、鍵を紛失する心配もなくなり、管理者、利用者双方の負担軽減につながる。
	生成AI	Generative AI(ジェネレーティブAI)とも呼ばれ、文章、画像、音声等を創造し、出力することができる。

	セミセルフレジ	職員が金額の登録を行い、顧客自身が精算機で会計を行うレジのこと。つり銭間違いのミス防止や、会計の待ち時間、集計業務の短縮につながる。
た行	タッチ決済・QRコード決済	キャッシュレス決済の仕組みのこと。タッチ決済は、タッチ決済対応のカードやスマートフォン等を店舗などの決済端末にかざすだけで決済が完了する。QRコード決済は、スマートフォンのアプリ上や店舗に配布されたQRコードを読み取って決済する。
	チャットボット/AIチャットボット	チャット(おしゃべり)とロボットを組み合わせた造語。人間がおしゃべりするように短い文字メッセージでコンピューターと対話する自動会話プログラムのこと。特に人工知能を搭載し、あらかじめ登録された情報だけでなく、サービスを運用する中で集積したデータを解析し、より精度の高い回答を導き出すものを「AIチャットボット」という。
	デジタルサイネージ	「電子看板」を意味する英単語。屋外・店頭・交通機関などの空間で、動画や画像などを用いて情報を発信するシステムの総称のこと。
	デジタルデバイド	地理的な制約、年齢、所得、身体的な条件等の要因に基づく、インターネット等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる「情報格差(情報量や質の差)」のこと。この格差により、教育の質、就業機会、災害などの緊急時の対応等における格差が生じたり、高齢者の社会的孤立を生み出す恐れがある。
	デジタル田園都市国家構想	国が進める「デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されずすべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」という構想。
	デジタルリテラシー	リテラシーは、読み書きできる能力のことを指す言葉で、近年は「ある分野に関する知識や能力」という意味で使用される。デジタルリテラシーとは、デジタルを適切かつ効果的に活用する際に必要となる知識や能力のこと。
	テレワーク	Tele(離れて)とWork(仕事)を組み合わせた造語。ICTを活用して在宅勤務、移動の合間で勤務することができ場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。働き方改革の推進や労働生産性の向上、ワークライフバランスの改善等につながる取組。
は行	届出ナビ	熊本市が提供するサービスの呼称。専用タブレットを使用し、引っ越しに伴う住民異動手続きの届出書を作成することができるシステムのこと。マイナンバーカードを利用し入力情報を省略できるなど、より簡単に手続きができる。
	パーソナルデータ	個人情報保護法が規定する「個人の識別情報」に加え、個人の属性情報や移動・行動・購買履歴、ウェアラブル機器(身体に装着するコンピュータ等)から収集した情報など、個人の識別性のない情報も含む「個人に関する情報」のことを指す。
	バックオフィス	企業内の部署のうち、顧客に接する部門や本業の中核を担う部門を支援する、間接的な業務を行う部門(経理、人事、総務など)のこと。

	ビッグデータ	スマートフォン等を通じた位置情報や行動履歴、インターネットやテレビでの視聴・消費行動等に関する情報、また小型化したセンサー等から得られる膨大なデータのこと。
	標準化法	「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律(令和三年法律第四十号)」。地方公共団体の情報システムの標準化・共通化を実効的に推進するため、令和3年に制定された。基本方針及びシステムに必要とされる機能等についての必要な事項を定めている。
	プラットフォーム	「(一段高くなった)壇」や「(高い)足場」といった意味を持つ英単語。「土台、基礎」という意味から派生して、インターネット上で情報処理を行うための土台を指す。さらに、システムやサービスを稼働させるための基盤を意味することもある。
	フリーアドレス	オフィスの中で固定席を持たず自由に席を選択できるワークスタイルのこと。スペースの効率的活用や、職員同士のコミュニケーションの促進効果が期待される。
	フレイル	加齢により身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと。健康な状態と日常生活でサポートが必要な要介護状態の中間に位置し、早期に適切な治療や予防を行うことで、元の健常な状態に戻ることが可能とされている。
	プロアクティブ	「先を見越した」「事前に行動を起こした」という意味の英単語。積極的に先を見越した事前の対策を講じること。
ま行	マイナポータル	国が運営する オンラインサービスのこと。子育てや介護をはじめとする行政サービスの検索や オンライン申請のほか、行政機関が保有する自身の情報の確認、行政からのお知らせ通知の受信などができる。
	モビリティサービス	モビリティとは、動きやすさ、移動性、機動性などの意味を持つ英単語。自動車等による移動や運搬をスムーズに行うためのサービスのこと。
ら行	ライドシェア	ライド(乗る)をシェア(共有)することで、ウェブサイトやアプリを介し、ドライバーと同じ目的地に移動したい人をマッチングさせるサービス。
わ行	ワンストップ(サービス・窓口)	各種手続きの窓口を1つに集約し、移動することなく手続きを完結する取組。ワンストップ窓口の導入により、例えば転入・転出等に伴う複数の手続きを各窓口に移動せずに1つの窓口で完結することができる。

AI	Artificial Intelligenceの略。人工知能。人工的な方法による学習、推論、判断等の知的機能の活用に関する技術のこと。
AI デマンド タクシー	AIを活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うタクシーのこと。スマートフォンのアプリなどに行き先を入力すると、同じ方向に行きたい人と組み合わせて配車を行う。
BPR	Business Process Re-engineeringの略。業務本来の目的に向かって既存の組織や制度を抜本的に見直し、業務プロセス全体(手順、役割分担、ルール、情報システム)をデザインしなおすこと。
DX(デジタル・トランスフォーメーション)	Digital Transformationの略。デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会制度や組織文化なども変革していくような取組を指す概念。
ICT	Information and Communication Technology(情報通信技術)の略。コンピュータやインターネットといった情報技術(IT:Information Technology)を活用し、人と人、人とモノが通信する応用技術のこと。
KPI	Key Performance Indicatorの略。組織の目標を達成するための重要な業績を評価する指標。達成すべき目標に対し、どれだけの進捗がみられたかを測る指標として用いる。
MaaS	Mobility as a Serviceの略。複数の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にもつながることが期待される。
office365	米マイクロソフト社のクラウドサービスのこと(現在はMicrosoft365に名称変更)。Word、Excelを始め、OutlookやTeamsなどの様々なソフトウェアを月額料金制で利用できる。ビデオ会議やファイル共有、スケジュール共有等、リモートワーク促進や業務効率化に必要な機能を多く備えているサービス。
RPA	Robotic Process Automationの略。これまで人間が行ってきた定型的な事務作業を自動化・効率化するソフトウェアのロボット技術のこと。
SIMカード	スマートフォンやパソコンで通信・通話のために装着するICチップのこと。加入者を識別するための契約情報が記録されている。
SNS	Social Networking Serviceの略。インターネット上で、友人・知人間のコミュニケーションを円滑にしたり、趣味や嗜好、居住地域などのつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供する会員制のサービスのこと。